

番号	施策	事業 【H29決算額】	KPI（重要業績評価指標）								事業効果 ※2	審議会委員からの評価		
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値		達成率 ※1	総合評価 ※3	意見
1	農林水産物の振興	生産総合事業 【1,130,357千円】 トップセールス事業 【3,200千円】	認定農業者数	1,049	1,054	1,040	1,045			1,075	後退	効果がなかった	有効	認定農業者数だけで事業効果を評価する事は困難ではあるものの、「ミニトマト」「いちご」の販売額が大幅に増加しており概ね評価できるが、KPIを経営面積で評価するのは如何と思う。 引き続き、認定農業者増加のための支援、後継者の育成、確保、各種補助金交付等の取組みが重要。
			主要農産物の経営面積(単位:a) 温州みかん	97,412	-	-	-			98,000	測定不能※農林業センサスより			
			主要農産物の経営面積(単位:a) いちご	9,703	-	-	-			9,800	測定不能※農林業センサスより			
			主要農産物の経営面積(単位:a) トマト・ミニトマト	21,472	-	-	-			22,000	測定不能※農林業センサスより			
2	農林水産物の担い手育成と受皿づくり	新規就農者支援事業 【43,938千円】	新規就農者数	9	11 【目標達成】	5	7			20 当初目標 (10)	後退	効果がなかった	有効でない	就農者増加のためには、所得の確保が最も有効な手段である。所得確保を中心とした支援対応が必要であり、今後も支援施策の工夫等による就農支援継続が必要。
3	農林水産物を活用した商品の開発と販路拡大	商品開発事業 【1,481千円】 販路開拓事業 【3,318千円】	6次産品売上高(単位:千円)	82,540	61,900	58,277	50,683			160,000	後退	効果があった	有効でない	売上げ高の減少に評価はできない。 また、1次生産者が農産物生産に追われ、新商品開発や販売に対応できていない。主婦や地元の菓子屋などと連携した商品作りを模索してはいかかがか。 その他、商品開発から数年間は「ふるさと納税」返礼品等で利用等の支援対応も検討してはいかかがか。
			6次産品開発数(累計)	59	66	69	69			90	32.3%			
4	新規企業の誘致と雇用創出	新規企業誘致事業 【6,963千円】 既存企業アフターフォロー事業 【188千円】	誘致企業の玉名市在住就業者数 (年度末時点)	1,052	1,038	1,078	1,096			1,059	目標達成	相当程度の効果があった	有効	景気動向による雇用増は認められるものの、新規企業誘致が増加しておらず、新規企業誘致による雇用者増加が課題である。 企業誘致は、自治体間勝負。勝つために踏み込んだ戦略が必要。例えば、学校統廃合等に伴う空き校舎利用のアプローチし易いような環境の整備を早急に進める必要があるのでは。
			誘致企業数(立地協定締結企業数) (年度末時点)	24	24	24	24			29	0%			
5	起業家の創業支援	創業支援事業 【0千円】 空き店舗対策事業 【1,000千円】	創業者数	5	7	4	1			13	後退	効果がなかった	有効でない	KPI値減少により、あまり事業効果が認められない。 創業者数が後退し続けているため、改善策を検討すべき。例えば、ホームページでの情報発信方法の改善や起業の同士が共に勉強し、また、その道に詳しい企業主や篤農家の情報、経営のヒントを学ぶ機会を与えるなどの取り組みが必要ではないか。
			空き店舗数 (年度末時点)	57	63	66	71			44	後退			
6	市内企業・就業者の支援	中心市街地活性化事業 【1,000千円】 地元就職支援事業 【1,145千円】 商工団体振興事業 【18,168千円】 中小企業支援事業 【150千円】	中心市街地新規出店数	7	8	4	1			10	後退	効果がなかった	有効でない	中心市街地新規出店数が伸び悩んでいるため、有効でない判断する。 市内企業や就業者の支援が具体的に行われている実感がない。 衰退の一途をたどる旧市街地に宝が眠っている可能性がある。 その際補助金のみで終わるのでなくソフトウェア一面の構築が肝要ではないだろうか。
7	インバウンド事業の推進	外国人観光客誘致事業 外国人観光客受け入れ態勢強化事業 【上記2事業 1,874千円】	外国人宿泊観光客数	1,000	2,247 【目標達成】	1,373	2,030			3,500 当初目標 (2,000)	41.2%	効果があった	有効	震災後からの回復基調は評価できる。HPアクセス数の増加も今後の展望に期待でき、また、SNSを活用した情報発信を外国人にも目に留まるような映像に進化させ、情報の拡散に市民の協力を得るなどの取り組みを行ってみるのも良いのではないかと。 また、更なる誘客のために、温泉を活用した街づくりを組織的に検討を。
			香港、台湾からの玉名市ホームページへのアクセス数	1,680	-	1,661	1,839			5,000	4.8%			
8	着地型旅行商品開発の推進	周辺自治体や市内関連団体との連携による着地型旅行商品開発事業 【2,189千円】 「夏目漱石」記念年事業 【3,584千円】 玉フェス開催事業 【3,000千円】 イベント誘客事業 【10,332千円】	着地型旅行商品参加者数	70	188	209	135			200	50.0%	効果があった	有効	大河ドラマ「いだてん」の放送は好機であり、周辺自治体との更なる連携を図り、集客に結び付ける取組みのほか、天候不良時の代替商品があるとリピーターも増えるのでは。 また、外国人がイベントに参加しやすいよう、多言語案内板や外国語が堪能な係員配置などの工夫をしては。
			イベント参加者数 等	386,141	358,358	294,818	330,089			400,000	後退			

番号	施策	事業 【H29決算額】	KPI（重要業績評価指標）									事業効果 ※2	審議会委員からの評価	
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値	達成率 ※1		総合評価 ※3	意見
9	スポーツツーリズムの取り組み推進	スポーツ大会・合宿誘致事業【4,034千円】 既存スポーツ大会の魅力向上事業【0千円】 玉名市ならではの自然環境を活かしたアウトドア・スポーツツーリズムの推進事業【292千円】	新規スポーツ大会の誘致・開催数	1	1	4	4			4	目標達成	相当程度の効果があった	有効	目標達成ではあるが、大型施設を持たない玉名市へスポーツ大会誘致はきびしい面がある。 スポーツのイベントをきっかけに、更に地域経済活動が活性化していくような取組みを推進すべき。 参加者の温泉地への導線（商品）があると滞在時間の延長、宿泊につながるため、新たな取組みを検討すべきではないか。
			新規スポーツ大会への参加者数	113	206	700	846			500	目標達成			
10	玉名版DMOの構築	玉名版DMO構築事業 マーケティング機能強化事業 受け入れ態勢整備事業【上記3事業 25,999千円】 各協議会等連携・支援事業【20,191千円】 玉名ブランド推進事業【5,838千円】	玉名版DMOによる雇用創出数（累計）	—	0	4	4			5	80.0%	相当程度の効果があった	有効	評価は高いと言えるが、目に見えてDMOの効果だとは言い難いし、議会、市民の認知が低いのが問題ではないか。 周辺市町の観光資源も活用した、より広域的な事業を展開し、玉名版DMOを観光業者がどう活用していくかを検討すべきではないか。
			入込観光客数	2,468,776	2,302,517	1,528,135	1,707,834			2,500,000	後退			
			温泉旅館等宿泊数	100,742	107,081	129,242	109,496			110,000	94.6%			
			物産展における玉名ブランド認定品等販売額	1,912,125	2,252,370	2,384,246	3,210,850			3,000,000	目標達成			
11	医療・福祉の充実	玉名産学官連携地域福祉推進事業 医療・介護をはじめとする玉名地域の多職種連携体制の構築【全事業 0千円】	九州看護福祉大学卒業生の市内への就職者数	9	11	5	6			20	後退	効果がなかった	有効でない	荒尾・玉名地域の他の自治体と連携して、合同説明会を開催するなどの取組みも検討するとともに、大学は玉名の一大産業の一つであると同時に看護、介護のメッカとなるようなまちづくりが重大、且つ喫緊の課題であることから、早急な対応が必要。
12	玉名市への転入の促進	定住希望者登録事業【243千円】 定住相談会参加事業【733千円】 定住促進補助事業【49,168千円】 市内企業従業員・学生のファミリー転入促進事業【0千円】 おためし暮らし事業【365千円】 空き家バンク事業【117千円】	移住支援施策を受け転入した転入者数	119	194	108	136			200	21.0%	効果があった	有効	特殊要因はあるにせよ一定の効果が出ている点は評価できるが、転入促進事業は地域間競争であることを念頭に置き、競争意識を高めて、アイデアと特徴を活かした戦略を打つべきではないか。 また、市独自の取組みと併せ、地域振興局や近隣市町と連携した取組みも引き続き事業推進を図り、転入促進に努める必要がある。 地域振興の基礎は人口対策にあり、転入促進は最重要課題の一つ。情報発信、相談窓口等の更なる充実に向けた取組みを行う。
			結婚者数（単位：組）（荒玉郡市の5年間の累計）	25	6	13（7）	28（15）			55	50.9%	相当程度の効果があった	有効	十分な成果が上がっており、評価できるが、今後マンネリ化しないように、出会いの場の設定の変更など、工夫が必要と考えるので、必要に応じた対策が必要。
13	若い世代の結婚希望の実現	広域連携による結婚希望者への支援【16,401千円】	結婚サポートセンター会員数（荒玉郡市の合計）	1,200	1,459	1,834	2,131			2,000	目標達成			
			訪問指導率（従来の一般的訪問指導）	85.2%	89.7%	89.2%	97.7%			90.0%	目標達成			
14	切れ目ない妊娠・出産・育児支援の充実	次世代育成母子保健事業【2,543千円】 乳幼児健康診査事業【10,559千円】 利用者支援事業（母子保健型）【4,897千円】	妊娠11週以内の妊娠届出数の割合	91.2%	94.6%【目標達成】	96.0%	95.4%			94.0%	目標達成	相当程度の効果があった	有効	助産師の活用から、大幅な指導率の向上が図られており、成果が認められる。 訪問指導率、妊娠届出数など目標を達成している取組みは、100%を目指すべきではないか。
			低出生体重児の割合	8.6%	7.8%	10.5%	10.4%			6.0%	後退			
			この地域で子育てをしたいと思う親の割合	—	—	96.8%	95.5%			65.0%以上	目標達成			
			思春期保健講座等の開催回数	4	1	2	6			7	66.7%			

番号	施策	事業 【H29決算額】	KPI（重要業績評価指標）									事業効果 ※2	審議会委員からの評価		
			成果指標	基準値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値	達成率 ※1		総合評価 ※3	意見	
15	子育て支援の充実	幼児期の教育・保育施設事業 【308,930千円】 地域子育て支援事業 【41,686千円】 子ども医療費事業 【219,028千円】 放課後児童健全育成事業（学童保育） 【135,805千円】 発達障がい児への支援対策事業 【26千円】	認可保育所（園）の待機児童数	20	-	-	12				0	40.0%	効果があった	有効	待機児童対策は女性の就業支援に直結しており、人口減少への歯止めにつながることも、継続した支援体制が必要である。また、学童保育の中でも発達障害児への支援は、現状のままでは不十分さを感じるため、個別指導体制の充実を望む。その他、量はもちろんのこと、質の向上にも今以上に努めてほしい。
			学童保育クラブ数	12	14	13	14				16	50.0%			
16	特色ある学校づくりの推進	特色ある学校づくり事業 【71,819千円】 特色ある学習活動の導入 【4,066千円】	学校生活が楽しいと考える児童・生徒の割合	93.4%	-	93.7%	93.5%				95%以上	6.3%	効果があった	有効	KPIの達成状況から評価できるが、但し、少数とはいえ、楽しくないと考える児童生徒の対策が重要と感じる。また、目に見えて大幅に改善する項目ではないため、今後も継続した取り組みが必要。
17	公共交通の利便性の向上	地域公共交通対策事業 【105,156千円】	路線バス、乗合タクシーの利用者数	929,031	871,753	844,883	777,260				930,000	後退	効果がなかった	有効でない	高齢者にバスの利用は困難、高齢者タクシーの活用はシフトすべきではないか。高齢者の運転事故対策としても必要である。KPIとしては、基準値から減少となっているが、人口減少が利用者減の理由とすれば、人口減少率を目標値に乗じる等の達成目標数値の変更も検討するべきではないか。
18	高齢者福祉の充実	高齢者等生活支援事業 【10,297千円】	支援事業利用者数	17,551	18,195 【目標達成】	18,483	17,121				22,000 当初目標 (18,000)	後退	効果がなかった	有効でない	利用者数は減少しているが、対象人口に対する利用者の割合等も検証してはいかか。また、高齢者は増加していくので、福祉バス事業の需要は増えるものと思うので、その対応を検討すること。その他、ファミリーサポート事業の高齢者版があるといいのではないかとの声も上がっているため、検討をお願いしたい。
19	防災体制の強化	防災体制強化事業 【4,233千円】 防災情報システム整備事業 【325,703千円】 消防団活動推進事業 【156,722千円】	避難行動要支援者登録者数	1,623	1,543	1,524	1,561				2,000	後退	効果があった	有効	組織は出来ても機能しなければ意味がないので、定期的な訓練等が必要。災害発生後の対応の一つに、防災井戸の設置推進の検討をしてみたいか。
			自主防災組織結成率（258行政区）	66.7%	76.0%	77.4%	78.7%				100.0%	36.0%			
20	安全なまちづくり	防犯灯設置補助事業 【20,023千円】	防犯灯のLED化率	13.1%	28.7%	38.4%	51.4%				47.0%	目標達成	非常に効果的であった	有効	事業効果が認められ大いに評価できる。防犯灯も重要であるが、防犯カメラの設置についても検討する必要があるのではないか。
21	公共施設等の総合的な管理によるまちづくり	公共施設適正配置事業 【10,178千円】	市保有公共施設の延床面積（単位：㎡）	310,806	-	300,757	305,120				306,358	目標達成	非常に効果的であった	有効	KPIの達成状況・進捗率から、成果が認められる。延床面積の削減だけでなく、施設の集約化や学校統廃合による空き校舎の有効活用の実績（件数等）など、事業効果をより適切に評価できるようなKPIの設定も必要と考える。
22	玉名市民・市内企業・行政の協働促進	玉名ご当地行政ポイント付与事業 【4,035千円】	たまなスタンプ会加盟店数	120	119	114	115				150	後退	効果がなかった	有効でない	有効ではないものの、加盟店数は減少しているが、多くの市民はポイントを活用しており、このポイントがなくなれば、もっと商店街は疲弊する。引き続き、スタンプ会の認知度の向上と加盟店増加への取り組み強化が課題である。
23	企業・団体や周辺自治体との協働促進	広域連携事業													

※1 達成率：達成率については、基準値が目標値を達成した場合は100%。それ以外については目標値に対する進捗率で表示。進捗率は、(H29年度値－基準値)／(目標値－基準値)×100

※2 事業効果の判断基準

- (1) 非常に効果的であった … 施策の指標全てが目標値を上回った場合
- (2) 相当程度の効果があった … 施策の指標が目標値を上回ることにはなかったものの、5割以上達成した場合（複数の指標がある場合は平均で5割以上達成した場合）
- (3) 効果があった … 施策の指標が目標値を上回ることにはなかったものの、事業開始前より改善した場合（複数の指標がある場合は平均で改善した場合）
- (4) 効果がなかった … 実績値が基準値よりも悪化している場合

※3 総合評価については、委員の評価の平均値で判断。